

住宅組合法案特別委員會議事速記錄第一二號

(一九九)

大正十年三月二十四日(木曜日)午前十時三十九分開會

○委員長(大久保利武君) 是カラ開會イタシマス、

○安立綱之君 借地借家法案ガ今提出ニナッテ居リマスガ、此法案ト如何ナル關係ヲ有シマスルノデゴザイマスカ、万一是ガ多少ノ關係ヲ有スルモノト致シマシテ、此法案ガ成立ヲ致シマセヌ時ハ其關係ハ如何ナルコトニ、本案トナルノデアルカ、其點ヲチヨット承ハッテ置キタイ

○政府委員(小橋一太君) 只今ノ御尋ニ御答ヘ申上

ゲマスガ、是ハ先日チヨットドナタカニモ簡単ニ御答ヘ申上ゲタト思ヒマスガ、借家、借地法案ノ兩法案ト

此住宅組合法トハ、兩々相並ンデ施行シ得ルト云フコトヲ、先ツ前提ト致シテ居リマス、ソレデ此住宅組

合法案ト致シマシテハ、借家法、借地法ガ制定セラレルト、或ハ制定セラレザルトヲ問ハズ、是ハ別ナ道

行キデ法案ヲ組シダノデアリマシテ、借家、借地法ノ關係ヲ見ズシテ、是ハ組合員ニ小住宅即チ適當ナル所ノ住宅ヲ得セシムル、即チ所有權ヲ得セシムルト

云フ目的デ作リマシタノデ、借地關係若クハ借家關係ニ付テハ本法案トハ別ニ關係ハゴザイマセヌ、只

先日チヨット申上ゲタヤウニ、借地法ガ若シ制定セラレマシタナラバ、アノ借地法ハ内務省ニハ協議ハ受

ケナイコトデゴザイマスガ、司法省ノ權利關係ニ於

テ規定シタ法律デアリマシテ、内務省ハ直接關係ハ

ナイノデ、司法省デ直接決定シタ案デアリマスガ、司法當局ノ説明ヲ聞キマスレバ、借地法ノ如キハ、地主

組合ノ運用上ニ於テ、自己ノ土地ニ造ル場合ト、人ノ

テ人ノ土地ヲ借リテ家ヲ建テ得ルト云フコトニ、ア

ノ法案ノ趣旨ガナツテ居ルト承知シマスカラ、此住宅

組合ノ運用上ニ於テ、自己ノ土地ニ造ル場合ト、人ノ土地ヲ借地シテ造ル場合トヲ、本案ノ中ニ豫想シテアリマスカラ、若シモ借地ヲシテ住宅組合ガ家デモ造ラウト云フヤウナ場合ニハ、今ノ借地法ガ制定セ

ラレタナラバ、幾分カ便利デアラウト云フ點ハ考ヘマス、調べノ大體テ居リマス、併シ兩法案ト住宅組合法案トノ別々ニ

○安立綱之君 モウ一ツ先キニ御断リ申上ゲテ置キマスガ、私ハ先日此委員會ノ時分ニ半バヨリ出マシテ、或ハ其趣意ガ重複スルヤウナコトハ、今見タヤウ

ナコトガアルカモ知レマセスガ、其點ニ付テハ御宥恕ヲ願ヒタイ、ソコデ今日ニ於テ全國借家ノ數ガド

ノ位ノ不足ヲ生ズルモノカト云フコトニ付テハ、此法案ニ對シテ直チニ起ル疑問デアラウト思フ、ソコ

デ内務省ヨリ御配付ヲ下サイマシタ住宅ノ不足數ヲ見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府縣ニ此調査ノコトヲ御命ジニナツタノデアリマスカ、戸數ト人口トノ數ニ依ッテ割出サレタモノデアルカ、

而シテソレハ各府縣ニ於テ一戸平均五人ノ所モアレバ六人ノ所モアルダラウト思ヒマスガ、其邊ノ標準ハ如何ナルモノニ御取リニナツタノデアリマスカ、ソレヲチヨット御尋ネ申上ゲタイ

○政府委員(田子一民君) 住宅不足數ハ唯今一万五千ト仰シャイマシタノハ便利資金ニ依リマシテ建築シマシタ數デゴザイマシテ、不足數ト看做シマシタ

レマシタナラバ、アノ借地法ハ内務省ニハ協議ハ受

ケナイコトデゴザイマスガ、司法省ノ權利關係ニ於

テ規定シタ法律デアリマシテ、内務省ハ直接關係ハ

ナイノデ、司法省デ直接決定シタ案デアリマスガ、司法當局ノ説明ヲ聞キマスレバ、借地法ノ如キハ、地主

組合ノ運用上ニ於テ、自己ノ土地ニ造ル場合トヲ、人ノ

テ人ノ土地ヲ借リテ家ヲ建テ得ルト云フコトニ、ア

ノ法案ノ趣旨ガナツテ居ルト承知シマスカラ、此住宅

組合ノ運用上ニ於テ、自己ノ土地ニ造ル場合トヲ、人ノ

土地ヲ借地シテ造ル場合トヲ、本案ノ中ニ豫想シテア

リマス、尤モ是ハ大正九年ノ五月ノ調べデゴザイマ

シテ、其後ノ人口ノ増加ニ依リマシテハ今日ニ於

ハ是ヨリ以上ニナツテ居ラウト考ヘマス、調べノ大體ハサウ云フ調べデゴザイマス

○安立綱之君 サウシマスト、私ガ此數ノ點ニ付テ運用シテ、少シモ差支ヘナイト考ヘテ居リマス

○安立綱之君 モウ一ツ先キニ御断リ申上ゲテ置キマスガ、私ハ先日此委員會ノ時分ニ半バヨリ出マシテ、或ハ其趣意ガ重複スルヤウナコトハ、今見タヤウ

ナコトガアルカモ知レマセスガ、其點ニ付テハ御宥恕ヲ願ヒタイ、ソコデ今日ニ於テ全國借家ノ數ガド

ノ位ノ不足ヲ生ズルモノカト云フコトニ付テハ、此法案ニ對シテ直チニ起ル疑問デアラウト思フ、ソコ

デ内務省ヨリ御配付ヲ下サイマシタ住宅ノ不足數ヲ見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

見テ見マスト、約全國ニ一万五千五百有餘ノ不足ガアルト云フコトガ茲ニ明記サレテアリマスガ、此住

宅ノ不足數ト云フモノガ、如何ナル標準ニ依ッテ各府

スナリデ、ソレデ寧口前段ニ付テ御話申上ゲタ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、住宅組合ハ住宅敷地ノ爲ニ必要ナル土地ヲ私人カラ買收シ得ル場合、若クハ私人ノ土地デハナクトモ、廣ク此間申上ゲマシタヤウニ、官公有地ノ購入、場合ニ依ッテハ其無代拂此官公有地ガ特別ナル取扱デ場合ニ依ッテハ無代拂下、或ハ他ノ慈善家等ノ若クハ公共的ノ方ノ寄贈ト云フ風ニシテ、普通ノ私有地ノ購入ト云フモノハ勿論、住宅用地ノ爲メニ住宅組合ガ爲シ得ル其以外ニ、此官公有地ガ特別ナル取扱デ場合ニ依ッテハ無代拂建テテ貸屋デモ造ル場合ハ購入シマスガ、其點ハ全ク住宅組合ト同様デアリマシテ、住宅組合ハソレヨリ以上ニ官有地公有地ヲ隨意契約ニ依リ買取ル事ガ出来ルト云フ事ハ、是ハ官有地取扱規則若クハ地方ノ公共團體ノ公有財產取扱規定ノ除外例ニナッテ居リマス、サウ致シマシテ此官公有地デ利用シ得ルモノノ見込ヲ調べマシタ所デハ、全國ニ亘リマシテ約七十一万坪ト云フ調ア大正九年ノ末ニハ得タ様ナ次第デアリマス、ソレカラ此各府縣ニアリマシテニ、此各省所管官有地ノ使用不用ノ土地調ア致シテ見マシタデスガ、是ハ全部住宅組合ニ供セラルト云フ、不用土地ノ官有地デアリマセヌガ、コチラノ希望ニ依ヅテハサウ云フ不用土地ガアルナラ、官ノ方ニ直接ニ使用セザル限り、若クハ他ノ目的ニ使用セラレザル場合ハ、相當ニ利用シ得ルト云フ考ヲ有ッタノデアリマスガ、一例ヲ申上ゲマスレバ、東京府内ニ於テ現在不用ト認マラルノガ十一万六千八百七坪アリマス、其中ニ大藏省用地、内務省用地或ハ近衛歩兵第一聯隊ノ兵營敷地或ハ舊近衛騎兵聯隊敷地、斯ウ云フノガアリマスガ、例ヘバ深川區ノ越中島ノ大藏省所有地ハ八万坪ガアリマスガ、是ハ今ハ不用デアリマスルガ、將來大藏省ハ如何ナルコトニ使用スルカドウカト云フコトハ、尙ホ所管省ノ意見ニ依リマスケレドモ、是等ノ官有地等ハ社會政策上カラ、住宅組合ガ出來マシタ場合ニハ、何トカシテ此住宅用地ニ利用スル途ヲ開キタイト云フヤウナ考ヲ有ッテ居リ

○男爵東鄉安君 私ハ此際大體ノ質問ヲモウ一遍イマス、是ハ此間ノ御尋ネニ補足シテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ唯今ノ御尋ネノ、第二條ハ借家借地ト關係ヲ有テハセヌカト云フ御尋ネデアリマスルガ、是ハ私ハ安立サンニ御答イタシマシタノハ、此組合法ス、ソレカラ唯今ノ御尋ネノ、第二條ノ場合ノ御得ル途ヲ開イタト云フコトヲ御答イタシタノデアリマスハ借地法借家法ガ制定サレテモ制定サレナクテモ、關係ヲ達スル上ヨリ少シモ差支ナイ、兩々相俟ツテ此目的ヲ達スルト云フモノモ其程行クダラウト云フコトヲ御答イタシタノデアリマスガ、第二條ノ場合ノ住宅用地ノ取得ト云フノハ、借家借地ト何ノ關係モゴザイマセス、造成ト云フコトハ或ハ官有公有地等ヲ住宅組合ガ拂下等ヲ受ケマシテ、之ヲ埋立ヲシテ宅地ヲ造ルコトヲ造成トスウ申スノデアリマス、是モ假リニ借地法借家法ノ出タ場合ニモ關係ハ無イト思ヒマス、今デモ借地法ガナクテモシモ借地法ガ制定サレマシタナラバ、其借地法ニ依リテ住宅組合員ハ借入レルコトガ出來ルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、今デモ借地法ガナクテモ其法規ノ命ズル所ニ依ッテ借地シ得ル、而カモ此借地法ハ司法當局ノ説明ニ依リマスレバ、借地人ノ權利ヲ相當ニ確保シテアルト云フコトデアリマルガ故ニ、住宅組合ガ他人ノ土地ヲ借受ケテ造ル場合ハ、借地法ノ保護ヲ受ケテ家ヲ建テルニモ便利ニナルダラシタデスガ、是ハ全部住宅組合ニ供セラルト云フ、ウト思ヒマス、ガ併シ亞ノ法律ガナクトモ今日ト雖モ借受ニハ民法上出來テ居リマスカラ、アノ法律ヲ待タズシテ歩ンデ來ル、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ住宅ノ設備ノコトデアリマスルガ、是ハ貸家ノ關係ノ場合ノコトト違ヒマシテ、此組合ハ中產階級以下ニ於テ相當ナル所ノ家ヲ供給スル、サウ贅澤ナモノハヤラセナイ、必要ナ程度ニ止ムルト云フ意味ニ於テ、建坪カラソレニ併フ設備附屬物ト云フコトモ、所謂中產階級ガ住宅地トシテ適當ナル範圍ヲ決メヤウト云フ趣意デ、規定シタノデアリマシテ、借家法ノ設備或ハ附屬設備ト云フ關係トハ、別ト御承知願ヒタイト思ヒマス

○男爵佐竹義準君 私ハ續イテ質問シタイノデゴザイマスガ、東鄉君ガ豫算委員會ノ方ニ行カレマスルカラ、東鄉君ニ御讓リ致シマス

○男爵東鄉安君 私ハ此際大體ノ質問ヲモウ一遍イマスガ、東鄉君ガ豫算委員會ノ方ニ行カレマスルカラ、東鄉君ニ御讓リ致シマス

タシタイト思ヒマス、本案ハ社會政策ヲ目的トシテ立案セラレタルモノデアルヤウニ承ッテ居リマス、外國ノ例ヲ見マスルト住宅組合ト建築組合トカ申シスノハ、今日ノ労働者階級ニ住宅ヲ供給スル、所謂ハ借地法借家法ガ制定サレテモ制定サレナクテモ、關係ヲ有テハセヌカト云フ御尋ネデアリマスルガ、是ハ私ハ安立サンニ御答イタシマシタノハ、此組合法ス、ソレカラ唯今ノ御尋ネノ、第二條ノ場合ノ御得ル途ヲ開イタト云フコトヲ御答イタシタノデアリマスハ借地法借家法ガ制定サレテモ制定サレナクテモ、關係ヲ達スル上ヨリ少シモ差支ナイ、兩々相俟ツテ此目的ヲ達スルト云フモノモ其程行クダラウト云フコトヲ御答イタシタノデアリマスガ、第二條ノ場合ノ住宅用地ノ取得ト云フノハ、借家借地ト何ノ關係モゴザイマセス、造成ト云フコトハ或ハ官有公有地等ヲ住宅組合ガ拂下等ヲ受ケマシテ、之ヲ埋立ヲシテ宅地ヲ造ルコトヲ造成トスウ申スノデアリマス、是モ假リニ借地法借家法ノ出タ場合ニモ關係ハ無イト思ヒマス、今デモ借地法ガナクテモシモ借地法ガ制定サレマシタナラバ、其借地法ニ依リテ住宅組合員ハ借入レルコトガ出來ルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、今デモ借地法ガナクテモ其法規ノ命ズル所ニ依ッテ借地シ得ル、而カモ此借地法ハ司法當局ノ説明ニ依リマスレバ、借地人ノ權利ヲ相當ニ確保シテアルト云フコトデアリマルガ故ニ、住宅組合ガ他人ノ土地ヲ借受ケテ造ル場合ハ、借地法ノ保護ヲ受ケテ家ヲ建テルニモ便利ニナルダラシタデスガ、是ハ全部住宅組合ニ供セラルト云フ、ウト思ヒマス、ガ併シ亞ノ法律ガナクトモ今日ト雖モ借受ニハ民法上出來テ居リマスカラ、アノ法律ヲ待タズシテ歩ンデ來ル、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ住宅ノ設備ノコトデアリマスルガ、是ハ貸家ノ關係ノ場合ノコトト違ヒマシテ、此組合ハ中產階級以下ニ於テ相當ナル所ノ家ヲ供給スル、サウ贅澤ナモノハヤラセナイ、必要ナ程度ニ止ムルト云フ意味ニ於テ、建坪カラソレニ併フ設備附屬物ト云フコトモ、所謂中產階級ガ住宅地トシテ適當ナル範圍ヲ決メヤウト云フ趣意デ、規定シタノデアリマシテ、借家法ノ設備或ハ附屬設備ト云フ關係トハ、別ト御承知願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小橋一太君) 唯今東鄉男爵ノ御尋ネハ淘ニ御尤モノ點ト思ヒマスガ、政府ニ於キマシテモ、所謂中產階級ガ住宅地トシテ適當ナル範圍ヲ決メヤウト云フ趣意デ、規定シタノデアリマシテ、借家法ノ設備或ハ附屬設備ト云フ關係トハ、別ト御承知願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小橋一太君) 唯今東鄉男爵ノ御尋ネハ淘ニ御尤モノ點ト思ヒマスガ、政府ニ於キマシテモ、所謂中產階級ガ住宅地トシテ適當ナル範圍ヲ決メヤウト云フ趣意デ、規定シタノデアリマシテ、借家法ノ設備或ハ附屬設備ト云フ關係トハ、別ト御承知願ヒタイト思ヒマス

此非常ニ景氣ノ好イ時代、戰爭ノ影響ヲ受ケテ急激ニ産業界ノ非常ニ發達シタ時代ニ於テ、急ニ住宅ノ不足ト云フコトハ勿論、大正七八年九年ト、此住宅ノ不足ト云フコトハ勿論、大正七八年九年ト、

不足ヲ示シタ狀態デハ、果シテ其種ノ不足ノ懇ヘガアルカドウカト云フコトハ分リマセヌケレドモ、住宅難ト云フコトハズット長ク續クデアラウト考ヘマス、ト云フノハ產業界ノ發達ノ爲ニ、農村地方ニ於ケル彼ノ次男三男迄モ獨立シテ家ヲ持ツト云フコトハ、住宅難ノ影響ノ一ツデアラウト思ヒマスガ、一面ニ都市ニ人ガ集マルト云フコトガ、住宅難ノ主モナル原因デアルト思ヒマシテ、先刻申シマシタヤウニ、極ク最近ノ調べデアリマスガ、全國ニ亘テ十二万戸不足ガアルト云フコト、昨年ノ暮ニアルト云フコトヲ申シマシタヤウナ次第デアリマシテ、今後ト雖モ人口ノ増加ニ伴ヒマシテハ、矢張リ家ノ不足ガ大分續クデアラウト考ヘマスカラ、一面申シマスト東京ニ於キマシテモ、人口ガ二百万ト致シマシテ、年ニ十万ヅツモ増加スル割合ニナリマスカラ、増加率ニシテ一戸五人ノ割合ニシマシテモ、唯ダ人口統計ノミヲ以テ云フノハ當ヲ得スカ知ラヌガ、ソレニシテモ一年ニ一万乃至二万ノ家ガ足ラヌト云フ統計ヲ示スノデアリマスカラ、御意見ノヤウニ今迄ノヤウナ住宅難ノ急激ト云フコトハナイト思ヒマスガ、將來ニ於テモ住宅ノ供給ト云フコトハ必要ト思ヒマス、而シテ住宅組合ニ付キマシテハ、唯今御話ノヤウニ、英國ニ於テハ住宅組合ハ勞働階級ニ限ツテ居リマスガ、今日我國ニ於キマシテ此相當ナ給料取デ、或ハ學校ノ教員トカ、或ハ小サイ會社ノ俸給取、吏員、店員ト云フヤウナ所ニ於テ、相當ナ範圍デ組合ヲ造ツテ、自分ノ所有家屋ヲ造ラセルト云フ事ハ、住宅難ヲ救フツノ緩和策デアラウト云フ考ヲ持ッタノデアリマシテ、併ナガラ是ハ單ニ住宅組合ノミデ住宅難ヲ救ヒ得ルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、先般來度、申上グマシタト思ヒマスガ、住宅會社法ト云フノ住宅組合法ト同時ニ法案ヲ組ミマシテ、社會事業調査會ノ方ノ審議ニ付シテ居リマス、是ハ審議ガ終了致シマセヌ爲ニ、本議會ニハ提出致シマセヌデアリマシタガ、是ハ出來ルダケ早ク是ハ提出シタイト思ツテ居リマスガ、其會社法ハ相當ノ家ヲ造ツテ、貸家ヲ造ラセル、或ハ貧民窟、或ハ勞働者ノ集ツテ居ル場所等ニ於キマシテモ、大長屋式ニ依ツテ衛生的若クハ簡

易ニ生活ガ出来ル ャウナ家ヲ造ル方法ヲヤラセタ
イ、貸家政策ヲ其方デ取りタイト云フ希望ヲ持ッテ
居リマス、ソレカラ貧民窟ノ改善ニ付キマシテハ、此
ノ住宅政策ノ外ニ、此度豫算ニ載ッテ居リマス社會事
業獎勵補助費ノ五十万圓ノ中ニハ、都會地ノ細民窟
ニ對シテハ、外國デ申シマス「セントルメンツウォー
ク」ト申シマスカ、所謂改善事業ヲボツヽ＼營ンデ行
キタイト云フ考ヲ有ツテ居リマス、是ハ住宅政策トハ
違ヒマスガ、細民窟ノ改善ト云フコトモ、他ノ方法ヲ
講ジタイト考ヘテ居ル次第アリマス
○男爵東郷安君 唯今御答辯ニ依リマスト、労働者
ノ住宅ニ對スル政策ト、中產階級ノ住宅ニ對スル政
策トハ並行シテ行クト云フ御考デアルヤウニ考ヘ
マス、暫ク是ハ左様ニ承ッテ置キタイト考ヘマス、ソ
コデ中產階級ノ住宅供給ト云フコトニ付テ、更ニ後
日建築會社法案ヲ御出シニナルサウデアリマスガ、
是ハ當然兩者ガ相伴ツテ行カナケレバナラヌコトデ
アルト存ジマスルガ、一ニ建築會社ヲ設立シ、若クハ
低利資金ヲ融通シテヤルト云フノミデ以テ、此住宅
供給ト云フコトハマダ十分行ハレナイデハナイカト
思ヒマス、ト申シマスルノハ、今日ドノ位ノ中流ノ家
ヲ御建テニナル標準ヲ御持チニナルカ知レマセヌケ
レドモ、兎毛角數千圓ノ金ガ掛カルノデアリマス、此
數千圓ノ金ヲ如何ニシテ融通スルカト云フコトニナ
リマス、ト組合ヲ作ッテ低利資金ヲ使フト云フコト
ガ、果シテ圓滿ニ行ハレルカドウカ、私共ハ何故斯ウ
云フコトヲ申シマスカト云フト、英米邊リノ不動產
擔保ニ對スル融通ト云フモノハ、如何ニモ圓滿ニ、如
何ニモ吾々中產階級ノ者ニ都合好ク出來テ居ル、即
チ或ル一軒ノ家ヲ買ヒ、若クハ造ル場合ニ、其内ノ約
四分ノ一ノ金サヘ持ツテ居レバ、旨ク銀行デ融通シテ
テヤルト云フ御考ガアッテモ、建築會社ヲ十分保護ナ
サルト云フ御考ヘガアッテモ、餘程此點ハ困難デハナ
カラウカト思フ、ソコデ私ハ金融ニ對シテハ如何ニ
御考ヘニナツテ居リマスカ、詰リ英米邊ノ金融ノヤウ

ニ都合ノ好イ金融ヲ特殊銀行ニ御命ジニナルト云フ
合法案若クハ住宅會社法ノ遂行上最モ必要ナコトト
思ヒマス、尤ノ御尋ネト存ジマスガ、御尋ネノヤウニ
此低利資金ヲ廻ハスコトハ、サウ十分ニハ參ラヌカ
ト思ヒマスルガ、大正八年九年ニ瓦ツテ主トシテ小住
宅ノ設立ニ向ツテ低利資金ヲ廻ハシマシタノハ、二千
三百万圓ニナツテ居リマス、ソレデモ一万五千戸バカ
リハ出來ル計畫ニナツテ居リマスガ、ソレデ決シテ十
分トハ申サレマセヌガ、去リナガラ是ハ住宅難ニ對
スル緩和ニハ相當ニナルト考ヘテ居ル次第アリマ
ス、而シテ住宅組合ニ對シマシテハ、今ノ低利資金ノ
供給モ、將來ニ於テハ十分努メタイト思ヒマスト同
時ニ、各地方ノ利害ノ關係ヲ有ツテ居リマス所ノ府縣
市町村ト云フ公共團體ヨリモ住宅組合ニ資金ヲ貸シ
得ル途ヲ此法律ニ規定致シテ置キマシタヤウナ次第
デアリマス、ソレデ他ノ或ハ特殊銀行トカ、或ハ保険
會社等ニ於テモ是ハ出來ルダケ盡力シテ、法規ノ下
デアリマセヌガ、成ルベクスウ云フ公益的ノ意味ヲ
含ンデ居ル組合デアリマスカラ、ソチラニ廻ハス方
ニ盡力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ
組合員ガ住宅所有權ヲ得ルコトアリマスガ、是
ハ組合ノ定款ニ定メルヤウニシタイト思ッテ居リマ
ス、全部ノ拂込ヲシナクテモ或ハ四分ノ一拂込ンダ
場合ニ其家ハ所有權ヲ認メル、或ハ拂込ヲ終ル迄貸
シテ置イテ其拂込ヲ終ッタ後ニ所有權ヲ得セシメル
ヤウニ致シタイト思フノデアリマシテ、三千圓ナリ
四千圓ナリノ家ヲ建テルニ、先ヅ千圓出セバ其ノ家
ノ所有權ヲ得ルト云フコトヲ此法律ノ範圍内ニ於テ
住宅組合ノ定款ニ於テ定メルト云フコトニ致シマス
カラ、幾分ハ仰セノ趣意ニ叶フヤウニナルト思ヒマ
ス、決シテ是デ満足トハ考ヘテ居ラヌヤウナ次第デ
アリマス

貴族院住宅組合法案特別委員會議事速記錄第二號

大正十年三月二十四日

又、ドウカ我ミ貧乏人ヲ一日モ早ク御救ヒ下サル事ヲ希望イタシマス、ソレデ尙ホモウ一ツ伺ッテ見タイ

ノハ此組合法案ヲ拜見シマスルト期間ニ付イテノ規定ガナイカノ如ク見エマス、例ヘバ一九一九年ノ英吉利ノ住宅建築補助金下付法第二條ニハ同法發布後

十二箇月間若クハ其以後四箇月ノ猶豫期間内ニ建築完了スルモノニ對シ補助金ヲ交付スル云々トアリマス、是ハ尤モ補助金ノ交付デアリマス、此組合法案ニ

○政府委員(田子一民君) 唯今ノ資金ノ關係ト建築此ノ如キ規定ヲ設ケル必要ハナイノテアリマスか、其點ハ如何デゴザイマスカ

ノ時期ノ關係ハ御尋ノ通り誠ニ住宅難ヲ救ヒマス問題トシテハ大キナ問題デアリマス、大正八年七年ノ低利資金供給ノ狀況ニ鑑ミマシテモ市町村ニ資金ヲ

廻ハシマシテカラ市町村會等ノ色ニナ内情ノ爲ニ資
金ハ借受ケマシテモ、事實家ヲ建テナイト云フ市町
村モナイコトハナイノデアリマス、隨ツテソレハ相當
設備ノ期限ヲ付シタイト考ヘテ居リマス、ソレハ
此低利資金ヲ供給致シマス際ニ供給條件ニ致シタイ
ト考ヘテ本法案ニハソレヲ規定致サナカッタノデア
リマス

○男爵東郷安君 中產階級ノ住宅供給ヲ目的トセラ
レテ居ル 法案デアリマスカラ、私ハ此家屋ノ構造ニ
付テ同ツテ見タイト思ヒマス、英吉利ノ住宅法ノ第四

條ニハ住宅ノ設計ニ付テ別紙附錄ヲ以テ其設計圖ヲ示シ標準ヲ掲ゲテ居ル。當局ニ於テハ組合ニ於テ拵ヘン場合ニ可等カ標準ヲ設ケテ家屋ヲ即存ヘニナレ。

ノデアルカ、モウ一つ之ヲ深ク考ヘテ見マスレバ標
準家屋ト云フモノヲ設計サレテ其據ル所ヲ示サレタ

ナラハ此建築費ト云フモノノ割合ニ安ク行クト云
フ事ニナリハシナイカト思フノデアリマス、ソレガ
第一點、第二點ハ構造ニ要スル材料即チ耐久耐火性

ノモノニ付テドウ云フ御考慮ヲ有ツテ居ラレルカ、日本ノ家屋ハ御承知ノ通り、貸家普請ト云フモノハ二三年デ雨漏リガシタリ根太ヲ變ヘナケレバナラヌ事

ニナツテ居ル、是ニナリマスルト外國ニアル住宅法
其他デ極メテ居ル家屋ト全ク構造ガ違フカラ、總テ
ノ點ニ於テ、金融ノ上ニ於テ其他ノ點ニ於テモ組合

○政府委員（小橋一太君） 今ノ冒頭ノ御尋デアリマスカ
スガ、是ハ技術上ニ瓦ルコトガ餘程多イト思ヒマスカ
ノデ、私ヨリ御答スルコトハ不十分カト考ヘマスル
ガ、大體此住宅組合ノ家ノ標準、先づ以テ大キサノ標準
準ハ大體ニ於テ示シタイト思ヒマス、サウ大キナ家
ヲ造ル積リデハアリマセヌ、所謂中產階級以下ノ住
宅ト云フノガ目的デアリマスカラ先づ制限ヲシタイ
ト思ヒマスノハ坪數ノ制限ヲスル、ソレハ三十坪ヲ
越エナイ程度ニシタイト云フ位ニ考ヘテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス、ソレカラ設備等ニ付キマシテモ
夫レニ相應シタ必要ナル程度ニ於テヤルト云フコ
トニ致シタイト思ヒマ、而シテ一面其御尋ノ趣意ニ
叶フ點ハ唯今ノ御承知ノ通り市街ノ建築法ト云フ
モノガ一昨年御協賛ヲ經テ昨年ノ暮カラ施行致シテ
居リマスガ、是ニ付テ其方ノ建築上ノ技術者モ居リ
マスノデ、或ハ中產階級ノ家ト云フモノニ對スル設
備構造ノ標準、ソレカラ唯今御話ノ材料關係等モ相
當研究シテ、ソレハ組合ノ建築上ノ便宜ヲ計ル、獨リ
組合バカリデナシニ一般住宅建築者ニ便宜ヲ與ヘ
ル程度ニ致シタイ、ソレデ内容ニ付テノ説明ハ私ニ
ハ能ク出來マセヌガ、其材料等ニ對シテモ規畫等ヲ
統一シテ成ルベク安ク家ヲ造ル方法ヲ講ズル、而シ
テ一面ニハ耐火耐久ノ點モ伴ッテ相當ニ出來ルヤウ
ニシヤウ、必ズシモ外國ノ例ニ依ラナイデモ、成ルベ
ク内地向ニ適スル方法ヲ講ジタイ、建築技師等ニ託
シテ調査シテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、マダ成
案ヲ得マセヌ
ス
○委員長（大久保利武君） 尚ホ此際皆サンニ申シマ
スガ、農商務省ノ政府委員モ御出席ニナツテ居リマス
カラ御質問ヲナサルヤウ、御参考ニ申上げテ置キマ
セヌデアリマシタガ、此住宅組合法案ト産業組合
ノ基礎即チ採算上ノ基礎ガ立タナインナル、是
等ニ付テハ如何ニ御考慮ニナツテ居リマスカ

法トハ餘程類似シタ所モアルヤウニ思ハレル、例ヘ
バ家ヲ産業組合ノ方デモ捲ヘルト云フコトガアルヤ
ウニ承知シテ居リマスガ、此關係ハドウ云フ風ニ農
商務省デハ御考ニナツテ居リマスカ、其點ヲ伺ヒマ
ス

○政府委員(戸田保忠君) 御答致シマス、此度産業組合法ノ改正ニ依リマシテ及ビ從來ノ産業組合法ニ依リマシテ矢張リ産業組合ニ於キマシテモ相互組織

ニ依リマシテ住宅ノ供給ト云フ事ハナシ得ルノデゴザイマス、關係ト申シマスト、ドウ云フヤウニナリマスカ、産業組合法デ申上ダマスト、從來ハ信用組合ニ

依リマシテ住宅組合員ガ住宅ノ建設ヲナサムトスル場合、信用組合ニ依リマシテ建築資金ヲ貸付スルコトガ出来マス、ソレカラ購賣組合ニ依リマシテ、例へ

バ 住宅ノ方モ古イ家ヲ買ヒ、ソレガ組合ガ買ヒマスルヤウニスルトカ、或ハ其點ガ今度ノ改正法ニ依リ

マシテ 古名家ヲ修繕フルコトガ出来ルノアリマス、建築材料ヲ組合デ買ヒ、ソレヲ組合員ニ賣リニ來ルト云フ方法モアル、此組合方法ハ更ニ此度ノ改正

ニ依リマシテ、住宅供給ノミノ目的デアリマセヌノデアリマスルガ、從來生産組合ト云フノガ、產業上ノ必要ヨリ組織ヲセシムルト云フコトニナッテ居ルガ、

此度ノ改正ニ依リマシテ、産業又ハ經濟ニ必要ナル
設備トナリマシテ、此利用組合ノ運用ニ依リマシテ、
組合員ニ家ヲ貸スコトガ出来レト云フヤウニナリマ

シタノデ、サウ致シマンシテ住宅組合トノ關係ト申シマスカ、其點ハ住宅組合ハ今宅色々茲ニ御審議ノ

アリベシテ御承知ナヤジニ特ニ住宅ヲ供給スルト云フコトノ目的セラ生ジタモノデアリマス、産業組合ハ唯今申上ダマス様ニ各種ノ事業ノ中ニ住宅供給

ノ事業モ、産業組合ニ依ツテ出來ルト云フ關係モゴザ
イマスノデ、住宅ノ供給ソレ自身ニ付キマシテノ特
殊ノ規定ヲ設ケテ居リマセヌノデ、從ツテ産業組合法

デハ住宅組合トノ關係ヲ考ヘテ見マスレバ、產業組合ニ依ルガ都合ノ好イ場合モ、住宅組合ニ依ルガ都合ノ好イ場合モ兩方ノ場合アラク、考ヘンジ。

リマス、ソレデ産業組合ノ方デハ兼營ト云フコトガ
出來ルヤウニナツテ居リマシテ、例ヘバ信用組合ト利

用組合ト云フヤウニ兼營ガ出來ルノデ、此度利用組合ニ依リマシテ、新開墾地ナラ新開墾地ニ移住民ガ出來マシタ場合ニ於テ或ハ二十人ナリ五十人ナリノト云フ情態デアル、此者ガ同時ニ販賣組合ヲ組織シ、是カラ出來タ農產物ヲ販賣スルニ都合ガ好イト云フ事モアルシ、或ハ田園都市ト云フモノガ段々出來タ場合ニ、利用組合ガ購買組合ヲ兼營イタシテ、日用品等ヲ同時ニ購買スルヤウナ事ニナッテ居ル、局長ガゴザイマシテ其組合員ナリ、其土地ナリ、地方ノ情況ニ依リマシテ、雙方相待ッテ住宅問題ノ解決ニハ貢献ガ出來ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵佐竹義準君 サウ致シマスト、產業組合法ノ方デハ矢張リ何デスカ、此住宅地ト云フモノハ一般公有地ノ拂下ヲ受ケルトカ、何トカ云フコトガ出來ルモノデセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ別ニ法ニ書イテゴザイマセヌノデ、特ニ法デ以テ出來ルト云フ譯デハゴザイマセヌ、一般ニ規定ノ上カラ出來得ル場合ナラバデス、特ニ産業組合ノ爲ニ特殊ノ恩典ハ別ニゴザイマセヌ

○男爵東郷安君 唯今ノ御説明ニ付テ伺ヒタイ思ヒマス、現在産業組合ニ於テ此ツマリ法案ノ趣意ニ副フヤウナ事業ヲシテ居ル者デアリマスレバ、其數ハ如何ト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(戸田保忠君) 御答イタシマスガ、改正以前、現行法ニ依ッテヤッテ居リマスノハゴザイマスガ、御承知ノヤウニ特ニ今マデハ住宅供給ト云フコトヲ標榜シテ居リマセヌ、或ハ信用組合、購買組合ナドデヤッテ居リマスハッキリシタ數ハ分リマセヌ、併シ此度ノ改正法ニ依リマシテ、改正法ニ利用組合ガ出來マシタガ、現行法ノ生産組合ノヤッテ居ルノハ、生産ニ必要ナル設備…住宅ニ限リマセズ、農村産業ニ必要ナル建築物ノ利用ナドヲ含ンデ居リマスルノデ、少シ廣クナリマスル、特ニ住宅供給事業ヲヤッテ居ル數ハ唯今分リマセヌガ、内務省ノ方デ昨年

○内務省ノ方ノ住宅供給ノ資金ニ付テ配慮ヲシテ居ラレ
マシテ、其方面カラ金ヲ借りテヤッテ居ル者ダケハチ
ヨット分リマスノデスガ、其數ハ九ツデゴザイマス、
内務省ノ方ノ斡旋ニ依リマス低利資金ヲ借入レテ居
ル組合數ガ九ツ、遞信省ノ簡易生命保険ノ資金ヲ運
用シテ低利資金ヲ矢張リ貸シテ居リマス、其方面カ
ラ借りテ居ル組合ガ一組合、合セテ十組合
○男爵東郷安君既ニ唯今御話ノヤウニ、住宅供給
ノ仕事ヲ産業組合ノ事業トシテ着手シテ居ル、尙ホ
今回ノ改正ニ依リテ名稱ヲ利用組合ニ改メラレテ、產
業法ニ經濟ニ關スル設備ト云フコトニナリマスシ、
又段々御説明ノ通ニ、是ニハ購買組合、販賣組合、信
用組合等ノ事業モ連帶シテ居ルノデアリマスルガ、
我ニガ日用生活ヲ致シマス上ニ於テ、洵ニ便宜ナ經
濟組織ニナッテ居ルト思フノデアリマス、而シテ産業
組合ノ歴史ハ非常ニ舊イモノデ其基礎愈々確立イタ
シテ參リ、金融ノ方法ガ餘程圓滑ニナッテ居リマス際
デゴザイマスカラ、新ニ住宅組合法ヲ設ケテ單ナル
新シイ組合ノ活動ヲ求メルヨリモ、産業組合ノ附帶
事業トシテ、唯今ノヤウニ利用組合ヲ益々助長シテ
行ッタラ、同様ナ目的ニナル、ソレヨリハ更ニ有效ナ
目的ガ達セラレルトスウ思ハレマス、其點ハ如何デ

員ハ漸次變更シテ行クト云フ性質デ、其性質モ違ヒ
マスシ、住宅問題ノ焦眉ノ急ヲ救フニハ、産業組合ノ
假リニ大改造ヲ行ヒマシテ、特殊ノモノニデモスレ
ト致シマシテハ矢張リ兩々相俟チマシテ各々其特色
ガゴザイマスカラ、其特色ヲ發揮シマシテ、各人ノ便
宜ノ方ニ依ラシメタ方ガ宜イト考ヘルノデアリマ
バ又或ハ方法モアリマスカ知レマセヌケレドモ、ド
ウモソレハ他ノ組合トノ關係モゴザイマスシ、政府
致シマシテハ矢張リ兩々相俟チマシテ各々其特色
ガゴザイマスカラ、其特色ヲ發揮シマシテ、各人ノ便
宜ノ方ニ依ラシメタ方ガ宜イト考ヘルノデアリマ
ス

○男爵東郷安君 私ハ産業組合ニ於ケル信用組合ノ
現狀カラ推シテ前説ヲ更ニ申上ゲテ見タイト思フノ
デアリマス、御承知ノ通リ信用組合ハ今日大藏大臣
ト内務大臣トガ兩方協議ノ上之ヲ監督スルト云フコ
トニナツテ居リマス、然ラバ住宅組合モ亦農商務内務
此兩省ノ管轄ノ下ニ於テ、國家的ノ事業トシテ成ル
可ク統一的、組織的ニ御ヤリニナル方ガ目的ヲ達ス
ルノデハナカラウカ、其方ガ先刻申上ゲタヤウニ、金
融ノ方モ、信用ノ方モ非常ニ便宜デハナカラウカト
斯ウ思ハレルノデアリマス

○政府委員(小橋一太君) 住宅組合ニ付キマシテ
モ、是ハ矢張リ内務大臣、農商務大臣ノ協議ニ依ツテ
ヤルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、先刻來ノ御
意見ノヤウナコトニ付キマシテモ大分問題モアリマ
シテ、十分考究モ盡シタ次第デゴザイマスガ、成ル程
産業組合ノ中ニ於テヤリ得ルノデアリマセウガ、唯
今農商務省ノ政府委員カラ御答ヘラシマシタ通り、
利用組合、信用組合、購買組合、販賣組合ト云フヤウ
ニ各種ノ組合ヲ一ツ纏メテ住宅ヲ入レ得ルノデアリ
マスケレドモ、政府ト致シマシテハ先日カラ申上ゲ
ベキ住宅會社法モ一面ゴザイマスノデ、其關係カラ
見地カラ成ル可ク之ヲ標榜シテヤリタイト云フコト
モ一つノ考ヘデアリマスシ、又此ノ姊妹法トモ稱ス
委員カラ御答ヘガアッタヤウニ、産業組合ト其性質ヲ
異ニスル點モアリマスシ、又之ニ對シテ特典ヲ與ヘ
ラレル點モ今ノ官有地公有地ノ如キ、場合ニ依ツテハ

無料供給モ出來ルシ、又場合ニ依ツテハ隨意契約
書面、電報、手紙、傳票等にて之を定め得。

○男爵東郷安君 唯今ノ御答辯ヲ裏カラ伺ッテ見マスガ、産業組合テ以テ、此改正法ニ依ッテ利用組合ノ一仕事ノ中ノ唯今提案ニナッテ居ル住宅組合ノ事業ヲ經營スルコトガ絶對ニ不可能デアルカドウカ、即チ特殊ノ恩典、産業組合ノ方ニ認メテアル恩典ヨリハソレ以上ノ恩典ヲ與ヘテアル住宅組合ノ法ニ依ッテ、此利用組合ノ中ノ其仕事ヲスルト云フモノデアルカ否カト云フ
○政府委員(松村眞一郎君) 住宅組合ト産業組合ノ關係ハ今東郷男爵ノ御尋ネニゴザイマシタ如キ問題ニ付テハ、隨分審議ノ際ニ議論ヲ重ねタノデゴザイマスガ、先程農商務省ノ政府委員ノ申シマス如ク、ソレデ目的ハ達セルノデアリマスカラ、言ハバ住宅組合ノ方ハ成ル可ク早ク組合員ニ住宅ヲ供給スル、ソレデ目的ハ達セルノデアリマスカラ、言ハバ住宅組合ノ方ハ成ル可ク永ク續イテ貰ヒタイ、永ク續クコトガ其組合ノ繁榮シテ居ル所以デアリ目的ヲ貫徹スル所以デナイカト思フ、故ニ本質ガ違ウノデアルガ故ニ、法制成ル可ク永ク續イテ貰ヒタイ、永ク續クコトガ其組合文ニ於テ、府縣市町村ノ公共團體ガ之ニ供給スルト云フ様ナコトモ規定シテアリマスノデ、普通ノ産業組合デソレ等ノ點ニ於テモ異ニスルト云フヤウナコトモアリマスノデ、成ルベクハ之レヲ獨立ノ立法トシテ住宅ノ供給上ニ住宅組合ト云フモノガ出ル方法ガ、一方住宅ヲ作ラムトスル人モ都合ガ宜カラウト云フノデ、兩々相俟ッテ行ク方ガ宜カラウト思フノデアリマス

又利用組合デ今住宅組合ガ作レナイカト云フト、出来ルノデアル、若シ利用組合ガ所有ノ爲デナク貸家ダケヤルト云フコトナラバ出來マスガ、住宅組合ノ方ハ其所有權ヲ得サセタイト云フコトガ目的デアリマスル、利用組合ノ方ノ目的ト致シマシテハ永ク續ケテ利用サセルト云フコトデシテ、又此兩方ノ法案ハ内務省、農商務省能ク協議イタシマシテ、サウ云フカラ運ンデ貴ヒタイト云フコトニ致シ、又住宅ノ色々家具ヲ供給スルト云フ事モアル、或ハ其他購買組合、信用組合ノコトヲヤルト云フ場合ニ於キマシテハ、本體ガ住宅デアリマセスカラ、農商務省ノ方デモ承知シテヤルト云フコトデアリマスカラ、先づ一方ハ産業上ノ見地、經濟上ノ見地ニ出發イタシテ居リマスシ、住宅組合ノ方ハ社會政策ノ方面カラ出發イタシテ居リマスカラ、同ジコトハ爲シ得ルノデアリマスケレドモ、矢張リ法制ハ別立テテ、權限官廳モ別ニシタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマス
○男爵東郷安君 私ハ此住宅ノ供給ニ關シテ經濟上ノ見地ヲ離レルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソコデ唯今松村政府委員ヨリ御答ヘニナリマシタコトハ誠ニ御尤モナ、殊ニ周到ナル御研究ノ結果ヲ拜承イタシマシタ、併ナガラ産業組合ノ方カラ見マスト云フト、何分ニモ古イ組織、根據アル基礎ノ上ニ立ッテ居マス、相當金融ノ途ハ付クノデアリマス、隨分金ハ相當持ツテ居ル、ソレカラ住宅ノコトデアリマスカラ短期ノ資金融通ヨリハ、長期ノ資金融通ノ方ガ最モ好上カラ言フト此ノ方ガ早く目的ヲ達スル、又借リタ方モ便宜ニ目的ヲ達シ、辨濟スルコトモ出來ルデヤナイカ、斯ウ思ハレルノデアリマス、併シ是ハソレカラ先キハ意見ノ相違ノコトデアリマスガ、唯今ノ御述ベニナツタコトニ反對デモアリマセヌ、御尤ナコトデアリマス、經濟上ノ方面、其他ノ方面カラ見テ左様ニ考ヘラレルノデハナカラウカト云フコトヲ、此際

○政府委員(田子一民君) 唯今ノ經濟問題ハ、私ハ主トシテ八年以來ノ事業ヲ扱ッテ居ル上カラ、簡單ニ一例ヲ舉グテ御参考ニシタ、イト思ヒマス、戰爭以來材料ノ騰貴、勞銀ノ騰貴ガ事實ニ現ハレマシテ、住宅ヲ經營シマシテ相當ノ利廻リヲ見ルト云フコトハ、今日ハ不可能デアリマス、唯今御承知ノ通り四分八厘デ供給イタシテ居リマスガ、尙ホソレデモ安ク家ヲ供給シタトイト云フコトハ困難デアリマシテ、市ニ於テモ實際上地稅ヲ幾分カ考究イタシテ居ルヤウナ形デゴザイマス、產業組合ニ於ケル利益ノ配當ト云フモノハ、假ニ一割ナラ一割ヲ目的トル、或ハ八歩ナラ八歩ノ利廻リヲ以テ信用組合ノ資金ヲ運用スルト云フコトニナリマスガ、住宅ノ資金ハ產業組合ニアリマスガ、所ガ市町村ニ於テハ一面此市會町村會増スト云フコトハ、事實非常ニ困難デアラウト思ヒマス、大正八年度九年度以來、資金ヲ供給ヲイタシテ始メテ市町村主義ヲ採リマシテ、頻リニ勵メタノデアリマスガ、所ガ市町村ニ於テハ一面此市會町村會ガアリマス爲メニ、色々ノ事情ノ爲メニ建築ガ遲レルト云フコトデアリマスガ、ソレデ産業組合ト信用組合ト販賣組合トヲ、無理ニ解釋イタシマシテ、此組合ヲ利用シタトイト云フコトデ農商務省ノ當局ノ方、大臣デハゴザイマセヌ、其主任ノ方々ガ屢々申上ゲタコトデアリマス、所ガ當時ノ法律上ノ解釋デハ、住宅ノ供給、住宅ノ所有權移轉ハ、此解釋デ行クニハ無理デアルト云フ御話デアリマシタガ、應急トシテソレ位ノ無理ハ願ハナケレバイカヌト云フノデ、組合ノ方ニモ段々資金ノ融通シマシタ、所ガドウモ容易ニハウマク行カヌノデアリマシテ、實況ヲ申上ダマスト、財團法人ナドハ公益ヲ目的トスル法人デヤッテ居ルノデアリマスガ、經濟上信用組合ニ相當ノ利廻ヲ見ヤウトスル事デアリマスレバ、是ハ私ハ困難デナカラウカト考ヘテ居リマス、サウ云フ譯デ住宅組合法ト云フモノハ、先程御話イタシマシタルヤウニ、外國ナドニアリマスモノハ少シ形ヲ換ヘテ居リマスケレドモ、必要上之ヲ作リマシタノデ、經濟的ノ見地カラ産業組合ノ發達ニ依テ住宅ヲ供給スルト云フコトハ貸金程度デハドウカト思ヒマスガ、容易ニハ經

濟上ニ相當ナリ廻リヲ見ルト云フコトハ事實上困難

デナイカト思ヒマス

○男爵東郷安君 別ノ點ヲ伺ヒマスガ、先刻次官ノ御説明ノ中ニ、地方ヨリ段々都會ニ集中ノ傾向ニナリツツアル、從ツテ都會ノ住宅拂底ハ今日ノ住宅難ヲ來タシタノデアル、ト云フヤウナ御説明デアリマス、御尤モデハゴザイマスガ、併ナガラ最近ノ傾向ハ更ニ市中ヨリ郊外ニ住宅ガ移リツツアル、若クハ市中ノ住宅ノ増率ヨリハ郊外ニ於ケル住宅増加率ノ多イト云フコトハ、是亦御認メ下サルコトト思ヒマス、ソコデ例ノ田園都市ト云フコトモ又考ヘツツアリマス、今回ノ住宅組合法ノ目的トスル所ハ、中產階級ノ住宅デアリマスカラ、此郊外ノ住宅ト云フコトニ付イテ特ニ重クナツテ居ルコトト思ヒマス、郊外ノ住宅ト云フコトハ交通系統、交通ノ便宜ト云フコトヲ勿論主要ナ要素トスル、從ツテ都市計畫ト云フモノガ先づ以テ活動シテ實行サレテ後、是等ノ郊外ノ住宅ト云フモノガ利用サレル譯デアリマスカラ、市内ニ於ケル住宅難ヲ防グト同時ニ、郊外ノ住宅經營ニ對シテモドチラカラ考ヘテ見テモ先づ以テ交通系統ト云フモノガ是並必要デアッテ、公設市場ト住宅ノ思ヒマス、市内及ビ市ニ近キ郡部ニ於テハ、公設市場ト云フモノガ是非必要デアッテ、公設市場ノドノ位ノ距離ノ所ニ新ラシイ住宅ヲ設ケルノデアルカト云フコトニ相當ノ御考慮ガ要ルト思ヒマスガ、是等ニハドウ云フ御研究ガアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 唯今ノ御尋ハ誠ニ重大ナ關係ヲ有チ、又最モ必要ナ事ト考ヘテ居リマスガ、此住宅供給ニ付イテハ、今御尋ネノヤウナ、市内ヨリモ市ニ接續スル郊外ニ目ヲ着ケルノガ最モ適當デアラウト考ヘマス、併ナガラ接續町村ト云ッタ所デ、大キナ市内中央ニ於テ仕事ヲスル人ノ距離デアリマスカラ、郊外ノ者ニセヨ、中央ニ向ツテ集マル人デアリマスカラ、是等ニ對シテドウシテモ交通連絡ノ設備ヲシナケレバナラス、從ツテ住宅供給ノコトニ付イテ

ハ、住宅計畫ノ問題バカリデナク、大キク廣ク考ヘレバ、都市計畫ノ考ト住宅將來ノ關係トハ非常ニ考慮ヲ

加ヘテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマスガ、ソレデ目下都市計畫ノ關係ニ於テ、六大都市ニ於テ調査進行中デアリマスガ、是ハ御参考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先づ東京ニ致シマシテモ東京

驛ヲ假リニ中心トシテ一時間以内テ高速度ノ交通機関ヲ利用シタナラバ集リ得ルト云フ地域ヲ都市計畫ノ區域ニ致シマシテモ、接續町村全部其中ニ入レマシテ計畫イタシ、ソレニ對シテ交通機關、電車等ノ配

置連絡ト云フコトト、路面ノ關係、道路モ相當使用シ

マスカラ、是ニ對スル計畫ヲ一通り調査イタシテ置

キマシテ、ソレデ郡部地方ニ於テ適當ナル場所ニ住

宅地ヲ設ケテ中產階級ニ便宜ヲ與ヘ、モト廣ク住宅

ノ供給ヲ得ル方法ヲ講ジタイト思ツテ、相當指定シテ

行カウト云フ計畫ヲ立テテ居ルヤウナ次第デアリマ

シテ、此住宅組合等モ其場合ニ於テハ成ルベク郡部

ノ安イ地ヲ利用スル、少シ遠クトモ交通機關ヲ完備

シテ行クト云フ考ヲ有ツテ居リマス、今田園都市ハ民

間デ計畫シテ居リマスシ、ソレカラ日暮里ニ於テモ

住宅ヲ中產以下ニ供給スル設備ヲシテ相當補助シテ

ヤラシテ居リマスガ、之ニ對シテ附屬設備トシテ公

設市場、公設浴場ノ如キモ開ク、住宅ヲ建テル場合ニ

カドウカハ、一ツノ問題トナリマスガ、八年九年ニ於

テ低利資金ヲ供給イタシマシタ時ニモ、住宅供給ノ

ハ魚市場ノ設備トカ何トカ云フヤウナモノハ、相當

ノ官有地ヲ利用シタイ、ソレカラ市ガ有ツテ居ル土

地、殊ニ東京市ト申シマスルト、大キナ埋立地等ヲ

有ツテ居リマスルガ、是等ハ成ベク市有ノ儘ニ私共ノ

希望トシテハ保存シテ、サウシテソレヲ適當ニ保存

シテ行ツタラ宜カラウト思ヒマスガ、何分ニモ市ハ財

源ヲ得ルニ急ニシテ、折角造成シタル市有地ヲ賣ツテ

仕舞フト云フヤウナ風ガアルノデ、是ハ沟ニ遺憾ト

思ヒマスルガ、將來ニハ公有地ノ如キハ出來ルダケ

利用シテ行キタイ、サウシテ成ルベク公共用ノ市有

地トシテ存在シテ置キタイト云フヤウナ考ヲ持ツテ

居リマス、大體御尋ネノ趣旨ニ於テハ沟ニ同感デゴ

ザイマスガ、實行上ニハナカ／＼困難ナ場合ガアル

ノデアリマス

○男爵東郷安君 建築材料ノコトニ付テ、更ラニ今

一點伺ツテ置キタイト思ヒマス、住宅組合成立ノ曉ニ視ヲ怠ラナイト云フコトハ、是非共必要ナ事柄デア

リマス、又他面ニ於テハ市町村有地ヲ整理シ、若クハ

擴張スルト云フコトモ、機會アル毎ニ爲サレナケレ

バナラヌコトデアル、從ツテ東京市内ノ如キ人家稠密

ナル所ニ於テハ、其中心ニ近イ處ニ廣大モナイ官有

地ガ何年ト拋ツテアルト云フコトハ、沟ニ矛盾シタコ

トデ、是等ニ付テノ御意見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 其點ハ私ニ於テモ東郷サ

ント全ク同感デアリマスガ、是ハ實行上ニ於テ中ミ

シテ計畫イタシ、ソレニ對シテ交通機關、電車等ノ配

置連絡ト云フコトト、路面ノ關係、道路モ相當使用シ

マスカラ、是ニ對スル計畫ヲ一通り調査イタシテ置

キマシテ、ソレデ郡部地方ニ於テ適當ナル場所ニ住

宅地ヲ設ケテ中產階級ニ便宜ヲ與ヘ、モト廣ク住宅

ノ供給ヲ得ル方法ヲ講ジタイト思ツテ、相當指定シテ

行カウト云フ計畫ヲ立テテ居ルヤウナ次第デアリマ

シテ、此住宅組合等モ其場合ニ於テハ成ルベク郡部

ノ安イ地ヲ利用スル、少シ遠クトモ交通機關ヲ完備

シテ行クト云フ考ヲ有ツテ居リマス、今田園都市ハ民

間デ計畫シテ居リマスシ、ソレカラ日暮里ニ於テモ

住宅ヲ中產以下ニ供給スル設備ヲシテ相當補助シテ

ヤラシテ居リマスガ、之ニ對シテ附屬設備トシテ公

設市場、公設浴場ノ如キモ開ク、住宅ヲ建テル場合ニ

カドウカハ、一ツノ問題トナリマスガ、八年九年ニ於

テ低利資金ヲ供給イタシマシタ時ニモ、住宅供給ノ

ハ魚市場ノ設備トカ何トカ云フヤウナモノハ、相當

ノ官有地ヲ利用シタイ、ソレカラ市ガ有ツテ居ル土

地、殊ニ東京市ト申シマスルト、大キナ埋立地等ヲ

有ツテ居リマスルガ、是等ハ成ベク市有ノ儘ニ私共ノ

希望トシテハ保存シテ、サウシテソレヲ適當ニ保存

シテ行ツタラ宜カラウト思ヒマスガ、何分ニモ市ハ財

源ヲ得ルニ急ニシテ、折角造成シタル市有地ヲ賣ツテ

仕舞フト云フヤウナ風ガアルノデ、是ハ沟ニ遺憾ト

思ヒマスルガ、將來ニハ公有地ノ如キハ出來ルダケ

利用シテ行キタイ、サウシテ成ルベク公共用ノ市有

地トシテ存在シテ置キタイト云フヤウナ考ヲ持ツテ

居リマス、大體御尋ネノ趣旨ニ於テハ沟ニ同感デゴ

ザイマスガ、實行上ニハナカ／＼困難ナ場合ガアル

ノデアリマス

ニ對シテ政府ハ出來ルダケ斡旋ノ勞ヲ執ラル御積
リデアルカドウカ、尙ホ此コトニ付テ附加ヘテ申上
ゲテ置カナケレバナラヌ、昨日貴族院ノ本會議ニ上
リマシタ關稅改正ノ結果、建築材料ノ重要品デアル
所ノペインントカ、海鼠板等ハ、亞鉛ノ關稅ガ高ク
ナル爲メニ騰ル、サウスルト海鼠板ノ如キハ安イ建
築程使フ分量ガ多クナルノデアリマスカラ、此點ハ
實ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、ソレカラ鐵材ノ如キモ、釘
ノ如キモ、矢張リ今度ノ關稅引上ノ結果騰ルノデア
リマス、是等モ實ハ住宅組合ノ精神トハ逆行シテ居
ル所デアリマスガ、是ハ國家ノ大局上已ムヲ得ナイ
トシテ姑ク忍ビマスルケレドモ、兎ニ角直接ニ伴フ
所ノ木材其他ニ付テ、何カ御計畫ガアルノデアリマ
スガ附加ヘテ置キマスガ、實ハ先年大正八年ノ
内務省ガ低利資金ヲ融通シテ、都市ノ住宅難ヲ救フ
ト云フ計畫ヲ發表サレマシタ所ガ、其借手ガ非常ニ
多クツテ、サウシテ莫大ナル金額ニ上ツタノデアリマ
ス、所ガソレガ實現シタノハ殆ド其三分ノ一以下デ
アツタト記憶シテ居リマス、其爲メニ木材ガ却ツテ非
常ニ暴騰シテ、一般消費者ハ是ガ爲メニ非常ニ迷惑
ヲ蒙ツタ、是ハ私内務省ノ御仕打トシテハ、非常ニ怨
メシク思ッタ、今回ハサウ云フコトノナイヤツニ、是
非共御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小橋一太君) 住宅ニ對スル用材、材料
ノ低廉ナル事ハ出來ルダケ希望イタシマスルシ、又
相當注意考慮ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマスガ、現在
之ニ付テヤツテ居リマスルノハ、農商務省ト打合セマ
シテ官有林ノ方ノ材料ヲ低廉ニ供給ヲ受ケル様ニシ
テ、サウシテ一面ニハ運賃ノ割引ト云フ方法ヲ執ツ
テ、材料供給ノ殊ニ用材、材木デアリマスルガ、
其供給ノ成ベク低廉ナルコトニ對シテ努メテ現在マ
デ居リマスガ、將來モ其點ニ付テハ矢張リ續ケテ、組
合等ノ仕事ニ對シテハヤルヤウニ致シタイト考ヘテ
居リマス、其他ノ材料ニ付テハマダ特ニ私考ヘテ居
リマセスケレドモ、之レニ付テハ先刻チヨット申上ゲ
テ、種々調査ヲ致シテ居リマシテ、必要ナル材料、又

ハ其材料ノ供給等ニ對シ、相當調查ヲ致シマシテ、此
建築經營者所謂組合ノ經營者等ニ便宜ヲ與ヘル方法
ヲ講ジタイト思ヒマス、目下ノ所ト致シマシテハ、今
迄申上ゲマシタヤウニ、官有林ノ材木ヲ低廉ニシテ
實ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、ソレカラ鐵材ノ如キモ、釘
ノ如キモ、矢張リ今度ノ關稅引上ノ結果騰ルノデア
リマス、是等モ實ハ住宅組合ノ精神トハ逆行シテ居
ル所デアリマスガ、是ハ國家ノ大局上已ムヲ得ナイ
トシテ姑ク忍ビマスルケレドモ、兎ニ角直接ニ伴フ
所ノ木材其他ニ付テ、何カ御計畫ガアルノデアリマ
スガ附加ヘテ置キマスガ、實ハ先年大正八年ノ
内務省ガ低利資金ヲ融通シテ、都市ノ住宅難ヲ救フ
ト云フ計畫ヲ發表サレマシタ所ガ、其借手ガ非常ニ
多クツテ、サウシテ莫大ナル金額ニ上ツタノデアリマ
ス、所ガソレガ實現シタノハ殆ド其三分ノ一以下デ
アツタト記憶シテ居リマス、其爲メニ木材ガ却ツテ非
常ニ暴騰シテ、一般消費者ハ是ガ爲メニ非常ニ迷惑
ヲ蒙ツタ、是ハ私内務省ノ御仕打トシテハ、非常ニ怨
メシク思ッタ、今回ハサウ云フコトノナイヤツニ、是
非共御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(大久保利武君) 如何デセウカ、實ハ此會
期モ切迫シテ居ツテ、色々ノ委員會ニ關係ノ皆様モ多
イダラウト思ヒマスガ、若シ出來得ルコトナラバ幾
分デモ早ク進メタ方ガ宜クハナイカ、殘ル問題ハ何
所迄モ質疑研究ハ重ネナケレバナリマセスガ、尙ホ
出來得ルダケ質疑ダケハ先キニ進メテ行クコトニシ
テ、午後モ差支ガナケレバ進行シテ行キタイト思ッテ
居リマスガ、皆様ハ如何デアリマスカ

○安立綱之君 午後ハ少シ差支ガアリマスデゴザイ
マスガネ、午後ハ決算ノ總會デゴザイマシテ、其方ニ
午後一時カラナニシテ居リマスカラ、ドウシテモ其
方ノ主査ノ報告ヲシナケレバナラヌ、中川伯爵ニサ
ウダト思ヒマス

○男爵東郷安君 私モ午後カラ差支ガアリマス
○高橋隆一君 私モ決算ノ方デ
○男爵佐竹義準君 ソレデハ明日デハ如何デアリマ
スカ

○委員長(大久保利武君) 明日ソレデハ午前十時カ
ラデモヤリマスカ

○安立綱之君 宜ジウゴザイマス

○委員長(大久保利武君) ソレデハ明日午前十時ニ
キチット開クコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソ
レデハ今日ハ…

出席者左ノ如シ

午後零時一分散會

委員長	大久保	利武君
副委員長	高橋	隆一君
伯爵中川	男爵安藤	直雄君
男爵佐竹	男爵佐竹	義準君
男爵東郷	安君	安君
安立		

政府委員	法制局參事官	内務次官	小橋	眞一郎君
	内務書記官	田子		一太君
	農商務書記官	戸田		一民君
				保忠君